

市民大学開講式

いくつになっても
学びたい！

Photo News

まちの 話題



▲意欲的に学ぶ受講生

さまざまな教養講座を楽しみ、いつまでも健やかで心豊かに過ごせるようにと「百歳天理・市民大学」の1回目が5月24日、文化センターで開かれました。

開講式では、南市長からあいさつの後、長年にわたり講師を務められている東大寺長老の狭川宗玄先生に感謝状が手渡されました。その後、狭川先生から「仏教の深い意味を知る」をテーマに講演があり、参加した約120人の受講生は、熱心に先生の話に聞き入っていました。

天理っ子遺跡探検隊 2013



▲意外に知らない郷土の歴史に興味津々

郷土の文化財を学ぶ

遺跡や古墳を巡り、郷土の文化財について知識を深めてもらおうと5月25日、「遺跡探検隊」が催されました。

集まった約20組の親子らは、黒塚古墳を出発し、長岳寺五智堂、中山大塚古墳、櫛山古墳などを巡りました。

各ポイントでは文化財課職員からクイズを交えて説明があり、親子で相談したり、メモをとるなど楽しく過ごしました。

また、子どもたちから多くの質問があり、難題に職員が戸惑う場面も。参加者は遺跡など探検を通して、知識と郷土愛を深めていました。

青年海外協力隊の 北井さんが帰国報告



▲縫製など手掛けたことを報告する北井さん

JICA(青年海外協力隊)ボランティアとして、エクアドルに2年間派遣された北井謙伍さんが帰国し、5月30日、南市長に表敬訪問を行いました。

北井さんは、派遣先のエクアドルで、縫製やミシン作業、パターン製作などの技術指導にあたりました。パターン製作が日本とエクアドルでは異なっており、実際に着物などを作り、日本の縫製方法を理解してもらい、両国の良さを取り入れた指導方法を行ったそうです。

今後は、さらに自分のスキルに磨きをかけ、将来は、海外で服飾の指導員に就きたいと決意を新たに話されていました。